

図書館主導による司書課程教育の構築

目的・趣旨 |

武庫川女子大学附属図書館は、立学の精神に基づき、特色ある女子教育の推進および女性研究者の育成を図るため、全学的組織に必要な不可欠な施設として、教育・研究活動を支援するための学術情報基盤の構築を遂行しています。平成 25 年 8 月には中央図書館の大規模改修を行い、「自分を見つめ 未来を拓く知の拠点：A Library Commons for the students」を基本コンセプトとして、グループ活動や実習・演習に役立つラーニング・コモンズの設置、車椅子に配慮したカウンターやブースの配置、インターネット環境、マルチスクリーン、音響設備、多言語対応のパソコン、貸出用ノートパソコンやタブレット端末、TV 会議システムなど、多彩なメディアが利用できる学修環境を構築しました。これにより、本学の司書課程で学ぶ約 500 名の学生の教育実践の場となるよう、それまでは諸資格課程を一括して担当していた教務系部署を解体し、平成 26 年度から司書課程については附属図書館が主管部署として全業務を担うことになりました。大学 13 学科、短期大学部 7 学科で履修できることから、それぞれの専門学問領域で学ぶ多様な学生の特長を生かした司書課程教育を実践しています。

実施内容 |

司書課程の担当教員は文学部日本語日本文学科に所属し、平成 27 年度は専任教員 3 名と非常勤講師 9 名で構成されています。専任教員は司書課程の専従ではなく、学科の授業も担当しています。非常勤講師は司書課程専従で、うち図書館員は非常勤講師として登録しています。司書課程に係る業務は中央図書館で担い、

主として次に挙げる業務に取り組んでいます。

① 履修相談窓口

司書課程の履修相談窓口を中央図書館内に設置し、大学および短期大学部の 1 年生向けの履修説明会を年 2 回実施しています。履修便覧を作成、履修費を設定し、教育支援システム「MUSES」で履修登録を行います。

② カリキュラム、シラバス、時間割の作成

翌年度のカリキュラムを作成し、科目担当者の出講依頼とシラバス内容のチェック、時間割の調整を行います。

③ 教科書リスト作成

シラバスに掲載される教科書・参考書をリスト化し、書店に発注を依頼します。

④ 図書館実習

選択必修科目「図書館実習」の実習受入先を選定依頼します。合わせて、「図書館サービス特論」では集中講義形式で、本学図書館課長が科目担当講師として兼務し、シラバス作成・成績評価を行っています。附属図書館を実習の場として、全 15 コマをシラバスの内容に応じて担当の図書館員が務めます。

⑤ 授業アンケート

全履修学生に対して科目ごとに、期中と期末に授業アンケートを実施し、PDCA サイクルで授業内容の改善を図っています。

⑥ 司書資格証明書の発行

卒業判定教授会を経て、卒業時に司書資格証明書を発行、授与します。

⑦ 見計らい図書の選定

司書課程を履修する学生が、書店から毎月届く約 300 冊の新刊学術書を選定しています。

⑧ 学生スタッフ (SSLC) の育成
図書館運営をサポートする学生スタッフ (SSLC= Student Staff for Library Commons) を採用し、テクニカル・サービスの補助や書籍制作、ライブラリー・カフェの運営、図書館主催の各種イベント対応など、インターンシップの場として図書館を最大限に提供しています。

⑨ ドクタードッグへの読み聞かせ
読書活動の一環として本学附属幼稚園と協働し、絵本の読み聞かせをドクタードッグに行う「R.E.A.D.プログラム」(R.E.A.D.= Reading Education Assistance Dogs) を実践しています。



「図書館サービス特論」での実習の1コマ
幼稚園児によるドクタードッグへの読み聞かせ

実施成果 |

司書課程に関わる業務のすべてを図書館が主管し、一部の授業科目を図書館員が担当することで、より直接的な教育活動への関与が実現しました。それは専門職としての司書養成のロールモデルにもなり、例年130名前後で推移していた履修登録者数が、新カリキュラム施行後に220名と激増していることから、大学図書館に対する満足度と、図書館司書への関心の高さの表れと見ています。また、中央図書館を教育実践の場としたことで、授業時の利用機会が格段に増え、前年度と比較して入館者数が180%、貸出者数が160%と増加しました。

学生スタッフ (SSLC) の育成では、業務内容別にスタッフ募集を行い、特に司書課程の学生については、図書館の利用動向調査、見づらい図書の選定、受入資料の目録・装備といったテクニカル・サービスの補助を中心に活動しています。その成果を学生たちが「図書館サービス概論」の授業内で報告したり、私立大学図書館協会の研修会でポスター発表をしたりすることにより、非常に高い達成感を得ながら学修に臨む姿勢がうかがえます。また、自律的に取り組むことができていなかった他の学生に対しても、強い動機づけの機会を生み出し、私もやってみようという主体的な学修へとつながっています。

たとえ司書として身を立てることがなかったとしても、司書課程で学ぶ情報検索技術や課題解決支援策は、転移可能な一般的能力に通じ、決して無駄にはなりません。学生目線を貫いた図書館サービスを積極的に実践する館員の姿を見せることで、私たち図書館員の意欲もまた向上しています。

今後の展開・課題 |

本学司書課程の教育内容を広く伝えるため、附属図書館ホームページ内に「司書課程」専用のメニューを平成27年度中に作成する予定です。学生からよく受ける質問や相談を「Q&A」方式で紹介し、情報の共有も図ります。将来的には、図書館の現場から最新の動向を発信し、司書として国内外で活躍する卒業生と学生をつなぐコミュニティーサイトとしての利活用を目指します。

参考文献・URL |

- ・ 武庫川女子大学附属図書館
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~library/>

連絡先 |

武庫川女子大学附属図書館 中央図書館
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6番46号
TEL: 0798-45-3532